

第13回「良順教育賞」の授与式が執り行われました

令和3年3月10日（水）に第13回「良順教育賞」の授与式が本学医学部ポンペ会館で執り行われました。

ポンペと共に長崎大学医学部の創立者である松本良順の名を冠したこの賞は、医学教育で優れた実績を有する教員等に対し、その功績をたたえるもので、平成20年度に設けられ、今年が13回目の授与式となります。

今回受賞された、長崎大学 生命医科学域（移植・消化器外科）日高 匡章 准教授は、2010年（平成22年）に助教として着任後、医学部の卒前および卒後臨床教育を中心に、医療人教育への多大な貢献を果たしてきました。特に今年度のコロナ禍において、いち早くオンラインを活用した講義や実習を積極的に行い、医学科5・6年生の「特によかった科」第一位に選出されるなど、本学の医学教育の改善と発展に大きく貢献しました。

表彰を受けた日高准教授からは、受賞の喜びが伝えられたほか、今後もより一層医学教育に邁進したいとの言葉が述べられました。

